



秋のクリーン作戦・避難訓練実施

9月5日（日）に秋のクリーン作戦と、コロナ禍でも災害はいつ発生するかわかりませんので、避難訓練が各地区で実施されました。実施内容は各区で異なります。



寄宮区



町区



川西区



青山区

不法投棄防止のお願い

「剪定した木くずが捨てられている。」との一報があり調査したところ、市有地で公園の樹木を剪定した枝木等と判明、今回は自治協議会で撤去処分をしました。

所有する山林等において「堆肥作り」等をする場合はこの限りではありませんが、他人の所有地・管理地等に無断で放置することは、「不法投棄」となりますので注意しましょう。

【自分で剪定した枝木等はどうしたらいいの？】

各家庭の剪定枝木等は「(家庭系)一般廃棄物」となり、少量の場合は「燃やすごみ」の指定袋に入れて地区の集積場所に出してください。多量の場合は南但クリーンセンターに直接持込みができますが、「1日につき軽トラック2台/戸以内」、「径5cm以下の生木で長さ1m以下に切断すること」が条件となります。径5cmを超えるものは、チップ加工業者等にお問い合わせください。

また、各区・自治協議会での剪定枝木等は「(事業系)一般廃棄物」となり、「一般廃棄物」として上記と同様に南但クリーンセンターに直接持込みができますが、各地区区長の指示に従ってください。



宿南地区水害対策促進期成同盟会研修会開催

8月17日（火）宿南ふれあい倶楽部ホールで養父市初任者被災地研修会（初任者教職員研修）が開催され、当同盟会の委員研修会として聴講しました。宿南地区も平成16年の台風23号で大被害を経験しており、川西区 池口寿彦様 川東区 田中 靖様の講演を聞き改めて災害の恐ろしさを認識しました。



季節の里山で見られる植物 ④

コナラのどんぐり〈ブナ科〉

コナラの木は、昔からシイタケの原木として利用されるほか、薪炭としても重要な木材資源です。今の時期、未だ青いどんぐりの実が見られます。コナラのどんぐりの帽子は、プツプツベレー帽です。宿南の山には他にもいろいろなどんぐりがありますが、コナラの他にみられるどんぐりの木とそのどんぐりの帽子の特徴は、アベマキ（通称クヌギ）は、アフロヘアー、シラカシはシマシマベレー帽です。主にはこの3種類ですので、裏山でどんなどんぐりが落ちているか調べてみてください。



宿南地区文化祭について

9月10日（金）第2回文化部会が開催され、11月21日（日）開催予定の文化祭は**中止**に決定致しました。楽しみにされていた方もいらしたとは思いますがご理解下さい。



お知らせ

9月12日まで発令されておりました新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言は9月30日まで延長されました。引き続き感染予防対策を取りながら生活しましょう。

秋祭り	田中神社	神事のみ
10月17日（日）	寄宮神社	神事のみ
	姫宮神社	例年通り
	三柱神社	例年通り
	大蔵神社	例年通り



草庵先生紹介

日記 31



草庵は早朝や深夜、線香で時間を計りながら黙座をした
宮崎和夫さん作

線香が1本燃え尽きるには、少なくとも20～30分かかるとは思いませんか。池田草庵は線香を立て、それが燃え尽きるのを目安にしながら静かに座った。黙座である。草庵にとって黙座は、読書とともに日々の自己の修養のために大切なことであった。読書ほどではないが、ほぼ毎日のようにしている。日記には「黙坐香1炷」というような書き方をしている。これは「黙座を線香1本燃え尽きるまでした。」という意味である。香1炷、2炷のことが多かったが、時には次のように連日長い時間黙座をしていた。嘉永元（1848）年12月の日記から。

「19日。黙坐、香3炷。夜間心持ちはややよくなる」「20日。黙坐、香2炷。就寝12時頃」「21日。黙坐、香4炷。就寝12時ごろ」「23日。黙坐、香6炷。就寝12時ごろ」外は雪の降るような12月の深夜である。「香4炷、6炷」とはずいぶん長い時間1人で座っていることになる。

黙座について、草庵は塾生たちに次のようなことを語っている。「人はまず自分を知らなければならない。自分を知らなければ努力もできない。私たちは、日々忙しさにまぎれて、自分はどういうものかということを見失っている。1人で静かに黙座してみると、自分を見つめることができる。そして、自分がいかに愚かでつまらないことを考えている人間かがわかる。そんな自分をごまかさず、自分でそれを正していくのだ。それが独りを慎む、慎独ということ。そういう生き方を大事にしていこう」（肆業餘稿）135条～143条意訳）

草庵は黙座のやり方や作法についてはあまり説明していない。とにかく感情を静め、心を落ち着かせて、黙ってしばらく座る。これを継続してやっていくことが大事なのだ、と草庵自身の姿で言っている。

池田草庵先生に学ぶ会